



フリー  
ペーパー  
ペッコ

# PECCO

VOL.74 2026.2

発行  
若手県立図書館



## 図書館探検記 その38 そめちゃんがゆく!

# 特殊文庫

岩手県立図書館には、「特殊文庫」として収蔵している本があることをご存知ですか？これは、岩手県にゆかりのある先人が収集した蔵書などを寄贈によって受け入れた資料のことです。一部を除いて、普段は閉架書庫で大事に管理されています。そこで今回は、あまり知られる機会の少ない「特殊文庫」について、そめちゃんが解説します！

**原敬文庫**  
  
寄贈 ▶ 昭和54年

**原敬** [1856-1921]  
政治家。現・盛岡市に生まれる。新聞記者や外務官僚等を経て、明治33年立憲政友会の創設に参画、政界入りを果たす。通信、内務大臣等を歴任し、大正7年第19代内閣総理大臣。

東京の自宅にあった蔵書約2万冊は、関東大震災によってすべて焼失。その後、昭和54年、盛岡の原敬別邸の倉庫を解体移築した際に、残っていた図書類が当館に寄贈される。

2022年、原敬文庫の中から、自筆と思われるメモが見つかったんだよ！



**吉賢文庫**  
  
寄贈 ▶ 昭和47年

**吉田賢雄** [1896-1972]  
大正10年、現・東京大学法学部法律家独法科卒業後、弁護士試験に合格。同年、東京第二弁護士会に加入。昭和4年盛岡弁護士会に加入。東北弁護士会連合会会長も務めた。

弁護士・吉田賢雄氏の遺志により寄贈された青少年向けの図書。児童書は児童力ウンター横の「児童図書研究室」に配架。

児童力ウンターの際のガラス張りのお部屋にあるよ！



**野村文庫**  
  
寄贈 ▶ 昭和39年

**野村胡堂** [1882-1963]  
作家。音楽評論家。現・紫波町に生まれる。現・東京大学法学部中退。明治45年に報知新聞に入社。音楽評論家「あらえびす」としても活躍。

『銭形平次』の作者としても知られる野村胡堂。彼の死後、その蔵書の一部が八幡夫人によって寄贈される。執筆の参考にしたと思われる、日本の歴史や江戸時代の文化・風俗に関する本が多数。



**村井文庫**  
  
寄贈 ▶ 大正12年

**村井源三** [1875-1941]  
明治41年、南部藩士であった父源三死去により、庫太郎から源三と改名。昭和4年、盛岡市議員に当選。酒造業を営み、岩手県酒造組合盛岡支部長、村井商事株式会社社長等を務めた。

酒造「あさ開」の2代目当主・村井源三氏が、若くして亡くなった息子の遺言により、その保険金の一部を使って仏教書・経済書を購入し、寄贈。仏教書は盛岡の願教寺住職・島地大等が、経済書は政治学者吉野作造が選書。

**新渡戸文庫**  
  
寄贈 ▶ 昭和24年

**新渡戸仙岳** [1858-1949]  
教育者、郷土史家。盛岡市に生まれる。藩校作人館に学んだのち、岩手師範学校を卒業。県内各地の小学校に赴任。その後は岩手日報社主筆となる。

岩手県内外から郷土に関する文献や資料を蒐集し、郷土文化の保護と啓蒙普及に尽力。藩政関係、武家作法、和歌・俳諧を中心とする文芸資料など多岐に渡り、岩手県の歴史・文化を研究する上で欠かせない貴重なもの。



自宅が火事になりまして、それで寄贈を決めました。

**浦田敬三文庫**  
  
寄贈 ▶ 平成31年

**浦田敬三** [1926-2019]  
近代文学研究家。現・紫波町に生まれる。法政大学文学部日本文学科卒業。高校教諭として昭和61年の定年退職まで勤務。国際啄木学会、日本社会文学会等に所属。

高校教諭の傍ら、岩手の近代文学研究に力を注いだ浦田敬三氏の蔵書の一部が寄贈されたもの。

図書だけでなく文芸雑誌もたくさん！



**佐伯文庫**  
  
寄贈 ▶ 昭和55年

**佐伯郁郎** [1901-1992]  
詩人。現・奥州市に生まれる。早稲田大学仏文科卒業。内務省勤務。戦後は、岩手県社会教育課長、現・盛岡大学短期大学部教授等を務めた。

戦前、内務省警保局で検閲官を勤めていた経歴があり、蔵書には、警視庁押収印の押された、風俗壊乱関係、安寧秩序関係などの発禁図書がある。

「発売頒布禁止」「警視庁」と書いてあるよ。



**菊池文庫**  
  
寄贈 ▶ 昭和13年

**菊池寿人** [1864-1942]  
教育者。盛岡で生まれた後、現・紫波町で育つ。現・東京大学文学部国文学科卒業。現・東京大学教養学部教授、同教頭を経て、大正8年から同校校長を務めた。昭和60年、紫波町名誉町民。

郷土の教育資料として、自身の蔵書の一部を寄贈したもの。当時の国文学に関する重要な図書はほとんど揃っており、研究者にとって貴重な資料。古典籍の影印本（複製本）が充実。

**玉山文庫**  **玉山定次郎** [1893-1974]  
寄贈 ▶ 昭和43年

盛岡市に生まれる。株式会社東山堂書店社長、岩手教科図書株式会社社長、日本書店小売業組合連合会理事などを歴任。昭和41年、勲五等双光旭日章。

東山堂の2代目社長・玉山定次郎氏より寄贈。歴史書や自然科学、芸術や文学の全集などがある。

**山本文庫**  **山本秀郎** [1914-1996]  
寄贈 ▶ 昭和60年

昭和12年、北海道大学農学部農芸化学科を卒業し、日産化学工業に入社。昭和38年には、関西日産化学株式会社常務取締役などの役職に任命され、昭和50年、同監査役解任後、岩手大学農学部非常勤講師を務めた。

山本秀郎氏より寄贈された図書。歴史書、近世文学書の全集が多いのが特徴。

**森文庫**   
寄贈 ▶ 平成25年

**森嘉兵衛** [1903-1981]  
東北社会経済史学者。盛岡市に生まれる。『旧南部藩に於ける百姓一揆の研究』が学界で高く評価される。平泉・中尊寺藤原四代のミイラ調査等に参加し文化財の発掘や保護にも携わった。昭和25年には岩手大学教授となり、岩手県文化財愛護協会会長など各種委員を務めた。

森嘉兵衛氏の蔵書の一部が平成25年に遺族により寄贈されたもの。

QRコード  
各文庫資料一覧 

各文庫の資料一覧は、それぞれの「文庫一覧」からPDFでご確認いただけます。

# おすすめ新着郷土資料【2025年10月-12月新着分】



## 後藤新平の「衛生の道」とは何か

春山明哲 著 / 藤原書店

後藤新平が生涯貫いた思想の「衛生」とはどのようなもので、どう培われてきたのか。著者は後藤新平の『普通生理学』『国家衛生原理』『衛生制度論』など3つの作品を元に、その思想を探る。後藤新平を研究してきた著者による「衛生」の思想の考察と共に、後藤の人生を窺うことのできる本です。



## 北斎殺人事件

高橋克彦 著 / 講談社

ボストン美術館で日本人画家が殺された。時を同じくして日本では、数奇な生涯を送った浮世絵師、葛飾北斎の正体に迫る研究が進められていた。若手県生まれの直木賞作家、唯一無二の浮世絵ミステリ。江戸時代と現代、日本とアメリカ、様々な要素が絡み合う謎から目が離せません。1990年7月に刊行された文庫の新装版です。



## 阿部ヤエに学ぶ伝承の教育

岡幸江 著 / 左右社

遠野の最後の伝承者・阿部ヤエに伝えられた伝承は、祖父母世代から孫世代へ、暮らしのなかで受け継がれてきました。本書では、阿部ヤエが伝えようとしてきた文字に頼らない「人の一生を育てる伝承」の世界を、時間的経過の下で生まれた理解をもとに、社会教育や地域教育の観点から描き出します。



## シシになる。 遠野異界探訪記

富川岳 著 / 亜紀書房

著者は地域活性化プロジェクトのため、遠野に移住することになります。今まで遠野に縁がなかった著者ですが、『遠野物語』を地域の人から教わることから始まり、伝統芸能であるシシ踊りの踊り手となることを通じて、遠野という地を、そして『遠野物語』を体感していく様子が詳しく書かれています。



## 文豪 不適切にもほどがある話 あの傑作のぶっ飛んだ舞台裏!

堀江宏樹 著 / 三笠書房

夏目漱石や森鴎外、太宰治など、日本を代表する文豪たちの傑作の舞台裏では、一体何が起こっていたのでしょうか。若手にゆかりのある石川啄木や宮沢賢治をはじめ、様々な文豪たちの「尋常ならざる生き様」に迫ります。文豪たちの破天荒な人生を知ることで、彼らの名作の新たな一面に出会えることでしょう。



## 鰻のたたき 【新装版】

内海隆一郎 著 / 光文社

鰻料理屋の店主夫婦と単身赴任の常連客、小割烹の店主夫婦と訳ありな従業員。それぞれの物語が酒場を舞台に描かれ、主役の店主の個性を反映した料理とともに、さまざまな人間関係の物語10作品が収録されています。短編小説の名手と呼ばれる作者の持ち味が活かされた作品です。本書は1997年刊の新装版です。